

船舶事故等調査報告書

平成24年4月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011仙第51号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成23年8月21日 09時15分ごろ	
発生場所	岩手県野田村米田川河口南東方沖 野田村所在の野田港南防波堤灯台から真方位193°1,880m付近 (概位 北緯40°05.8′ 東経141°49.7′)	
事故等調査の経過	平成23年8月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	作業船 アポロ、長さ2.96m	
船舶番号、船舶所有者等	220-15590新潟、株式会社アポロ調査設計	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	負傷 1人（船長）	
損傷	船外機濡損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、米田川河口南東方沖において、平成23年3月の東北地方太平洋沖地震の津波による離岸堤及び人工リーフの被災状況調査の一環である「GPSと音響測深機による深浅測量」（以下「測量作業」という。）を行いながら、約3ノットの対地速力で人工リーフ上を南西進していた。</p> <p>船長は船尾部に腰を掛けて船外機を操縦し、同乗者は船体中央の左舷側に腰を掛けて測量作業を行っていたところ、船長が、船尾方で白波が立つのを見て高波を避けるために右転して増速したが、左舷船尾から高波が打ち込み、本船が、平成23年8月21日09時15分ごろ右舷側に大傾斜して転覆した。</p> <p>船長及び同乗者は落水し、転覆した本船にしがみついていたところ、付近で操業していた漁船に救助された。</p> <p>船長は、右前腕に切創を負った。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 南東、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：波向 東、波高 約1m、海面水温 約23℃</p>	
その他の事項	<p>船長は、本事故後、人工リーフ上は水深が浅くて磯波が発生しやすいと地元の漁業者から聞いた。</p> <p>船長及び同乗者は、救命胴衣を着用していた。</p> <p>風浪やうねりは、海岸の水深の浅い場所に接近すれば水深の減少に伴い波長が短くなるとともに、波高が高くなり、磯波となる。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、米田川河口南東方沖の人工リーフ上の浅水域を南西進中、磯波を左舷船尾から受けたことから、右舷側に傾斜して転覆したものと考えられる。</p>

原因	本事故は、本船が、米田川河口南東方沖の人工リーフ上の浅水域を南西進中、磯波を左舷船尾から受けたため、右舷側に傾斜して転覆したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・人工リーフ上など浅水域を航行する際は、事前に磯波の発生状況を地元の漁業者などに聞いて確認すること。</li></ul>